

## 深谷市南公民館

特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

深谷市はガーデニングに主眼を置いたまちづくりに取り組んでおり、その一環として、南地区在住の草花を愛好する方々により、南公民館を活動拠点とする「みなみガーデニング倶楽部」が誕生しました。ガーデニング倶楽部の活動として、遊休農地を活用して花を栽培したり、緑が少なかった南公民館敷地内に花壇やロックガーデンを設営、緑のカーテンの設置、地域の遊休地を活用したコミュニティガーデンの整備などに取り組んでいます。特に公民館敷地内に設置したロックガーデンは地区内外で評判となっており、観光バスで訪れる方々がいるほどです。また、遊休農地等で栽培した花苗で作った寄せ植えの鉢を地区内のひとり暮らしの高齢者に配布する「花の郵便屋さん」事業を、民生委員、南中学校、桜ヶ丘小学校、深谷西小学校の児童生徒と協力して実施しており、児童生徒達による心のこもった手紙と丹精こめて育てられた花々が高齢者に変喜ばれています。



公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・地域住民同士のつながりが強まった。
- ・学校の生徒児童と地域住民との世代間交流が生まれた。

これまでの取組全体による成果・効果

- ・子供から高齢者まで幅広い年代の人々が集まり、利用するようになった。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

- ・学識者や学校、自治会関係者等15名で構成する公民館運営審議会を年3回開催。
- ・公民館の現状や課題、取組ごとの振り返りや次回への改善点等を議論、色々な意見等を踏まえながら検証、改善を実施している。
- ・地域学校協働活動に関する内容については、地域内の各学校運営協議会で行っている。（館長が委員として参加）

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

公民館事業で講座を実施し、地域住民の連携、連帯が深まるサークル活動への移行を促進しているが、持続して活動する団体がなかなか出てこない。単発の講座ではなく、半年、1年といった長い期間で魅力ある内容の講座を実施し、比較的若い年齢層の参加を促し、参加者同士の連帯感を強め、継続して活動できる団体が出てくるようにしていきたい。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

公民館だけでは何も成し遂げられないことを認識し、地域の人々と共に考え、協働していくことが大切であると考えている。あくまで主役は地域の方々であること、公民館はサポート役に徹することで、みなみガーデニング倶楽部のように長期間持続可能な取組を生み出すことができたと思う。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

コロナ禍で公民館事業が思うように実施できないこの機会に公民館事業を精査し、必要性等をもとにスクラップ&ビルドを実施していきたい。

